

枚方製造所

1 工場概要

- ▶ 住所 〒573-8573 大阪府枚方市中宮大池1丁目1番1号
- ▶ 従業員数 1,243名(平成21年4月1日現在)
- ▶ 敷地面積 326,880㎡(99,055坪)

2 事業概要

▶ 事業内容

- 鋳鋼事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事／営業
- ポンプ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事
- バルブ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事
- 建設機械事業部門 : 製造／営業

▶ 主要製品



MERT



縦軸斜流ポンプ



バタフライバルブ



ミニバックホー

3 工場変遷

- 昭和37年 (1962) ポンプ部門を枚方へ移転(枚方機械工場操業開始)
鋳鋼部門を枚方へ移転(枚方鋳鋼工場操業開始)
- 昭和39年 (1964) 武庫川機械工場から枚方に総合機械工場を建設移転
バルブ部門を枚方機械工場へ移転
- 昭和47年 (1972) 枚方機械工場を枚方機械製造所に改称
- 昭和49年 (1974) 小型油圧ショベル製造開始
- 昭和54年 (1979) 大型ポンプ・建設機械専用工場完成
- 昭和56年 (1981) ソフトシール仕切弁の製造開始
- 昭和59年 (1984) 枚方機械製造所・枚方鋳鋼工場・ハウス工場を統合し、枚方製造所となる
- 昭和61年 (1986) ハウス部門を別会社化し、機械部門・鋳鋼部門の構成となる
- 平成7年 (1995) 新素材開発部を枚方製造所に移転
- 平成11年 (1999) ISO14001認証取得
- 平成17年 (2005) ISO14001(2004年度版)へ移行

枚方製造所

4 環境方針

▶ ISO環境方針

基本理念

「豊かな生活と社会の基盤を支える製品・技術・サービスを通じて、社会の発展と地球環境の保全に貢献する」という経営理念に基づき、当製造所は環境保全と経済発展の調和をめざすと共に、「まずは安全、何より安全！」の認識の下、傷害及び疾病の未然未然防止に取り組みます。

基本方針

1. 環境と労働安全衛生の統合マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努めると共に、関連の法規制並びに当製造所が同意する協定等を遵守致します。
2. 製造所の製品、事業活動、及びそれらに関係するサービスの各段階における環境負荷の改善と環境汚染の予防に取り組みます。
3. 当製造所の経済活動と環境課題を並立させるテーマの計画的改善活動に努めます。
4. 危険有害要因の特定・評価に基づくリスク除去・低減対策を計画的に進め、すべての従業員並びに関係者の傷害や疾病の未然防止に取り組みます。
5. 製造所の全域で快適な職場環境づくりをめざすと共に、全従業員の心身の健康づくりを推進します。
6. すべての従業員が環境・安全衛生に高い意識を持ち、自ら社会的責任を果たせるよう、継続的な教育訓練や啓発活動に努めます。
7. 地域社会、公的機関、お客様、従業員の家族などの利害関係者らと常に良好なコミュニケーションを維持します。

—— この方針は社内外に開示します ——

制 定 1999年 3月15日

見直し 2008年 5月1日

株式会社クボタ 枚方製造所

製造所長 須田 和朝

▶ ISO14001 認証取得状況

認証取得年月日：1999年9月17日

2004年度版更新年月日：2006年4月12日

審査登録機関：LRQA

枚方製造所

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2008年度		
				目標	成果	自己評価
地球温暖化防止	CO2の削減	CO2排出原単位	2007	▲1%	+12.6%	×
		CO2排出量	1990	1990年度以下	▲48%	◎
	物流のCO2削減	CO2排出原単位	2007	▲1%	▲1%	○
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2007	▲2%	+11.1%	×
		排出量	2007	▲2%	▲13.6%	◎
	ゼロ・エミッション	埋立比率	—	1.2%	1.45%	×
有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	排出移動原単位	2007	▲2%	▲6.9%	◎
		排出移動量	2007	▲2%	▲26.2%	◎

※自己評価の基準 ◎・・・目標超過達成 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成

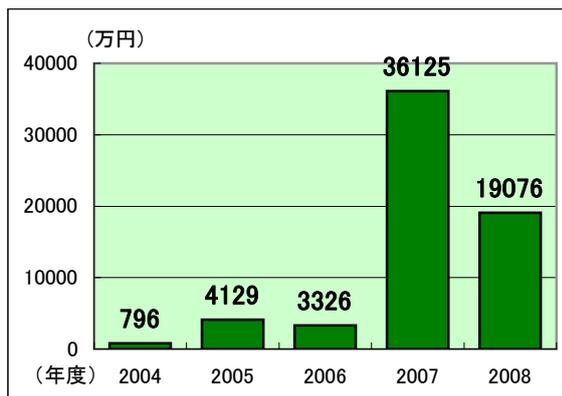
枚方製造所

6 環境会計

① 環境投資

2008年度:19,076万円

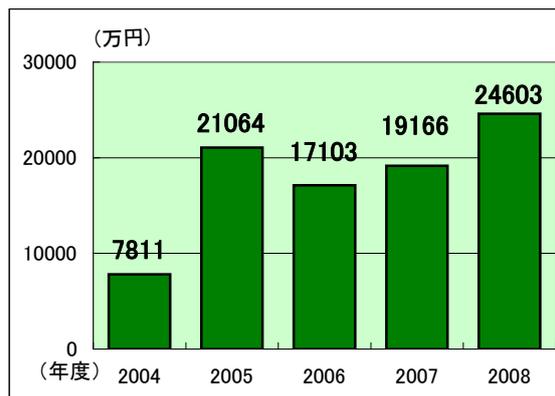
環境保全に関する投資額は1.9億円となり、2008年度と比べると1.7億円減少しました。



② 環境保全費用

2008年度:24,603万円

環境保全に関する費用は2.5億円となり、2008年度と比べると0.6億円増加しました。



③ 環境保全効果

効果の内容	効果	2007年度	2008年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算TJ)	773.8	689.7	▲ 84.1	89.1%
	水使用量(万m ³)	21.0	21.8	0.8	103.8%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	27,359	23,990	▲ 3,369	87.7%
	SO _x 排出量(t)	-	-	-	-
	NO _x 排出量(t)	13.1	10.3	▲ 2.8	78.6%
	ばいじん排出量(t)	0.68	1.16	0.5	170.6%
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	7.5	4.3	▲ 3.2	57.9%
	廃棄物排出量(t)	6,770	6,285	▲ 485	92.8%
	廃棄物埋立量(t)	0.83	0.47	▲ 0.36	56.6%

④ 経済効果

2008年度:19258万円

環境保全活動に伴う経済効果は19258万円となりました。

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	熔解作業の改善、金枠加熱方法の改善、等	779 万円
ゼロ・エミッション化対策	有価物の売却	18479 万円
合計		19258 万円

枚方製造所

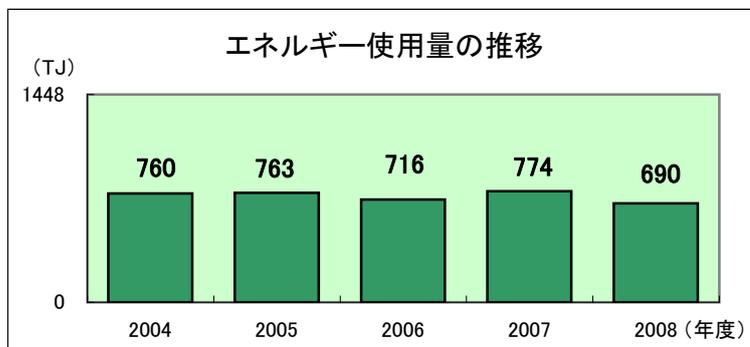
7 環境パフォーマンス

① 地球温暖化の防止

省エネルギー活動

エネルギー使用量は、2008年度より減少し690(TJ)となりました。

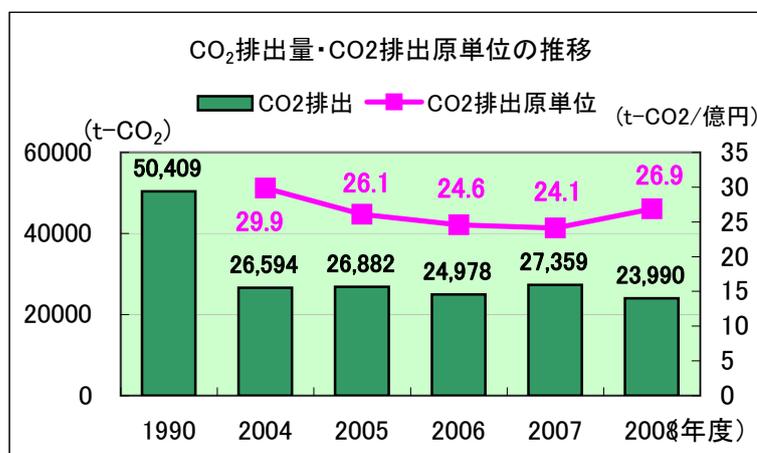
CO₂原単位は、減産の影響により、2007年度比1%増となりました。



CO₂排出量の削減

CO₂排出量は2008年度より減少し2.4万t-CO₂となりました。

1990年度比では52%減となっています。



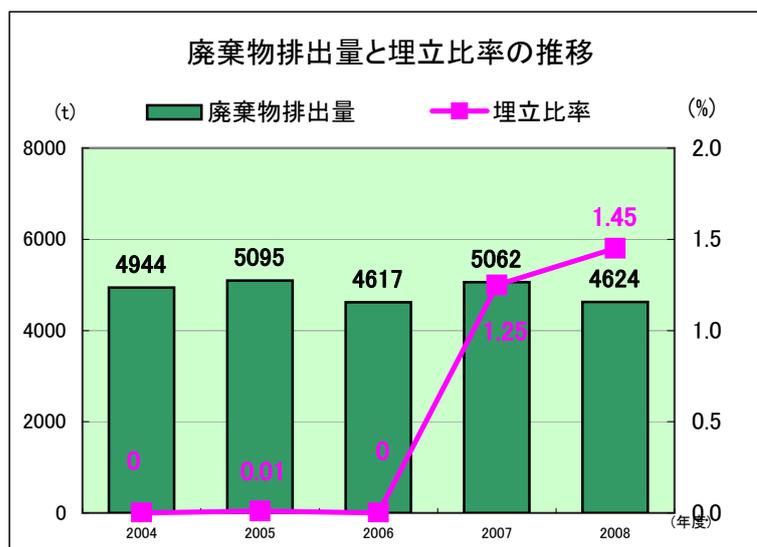
② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量は、減産の影響があり、2007年度比5%増となりました。

ゼロ・エミッション化

2008年度は埋立率1.45%となり、2007年度と比べて0.2%増加しました。



注: 2004~2006年度 埋立比率(%) = 直接埋立量 ÷ 廃棄物排出量
2007~2008年度 埋立比率(%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)
排出量算出方法の見直しにより、廃棄物排出量、埋立比率の数値が去年と異なっております。

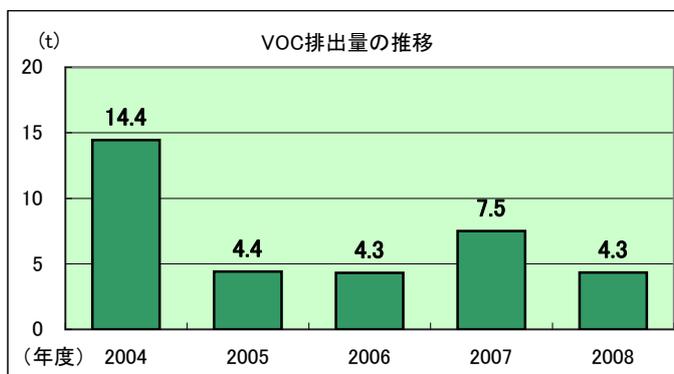
枚方製造所

③ 有害化学物質の削減

VOC大気排出量の削減

VOC発生施設全てに除害設備を設け、適正管理しています。

VOC発生量は減産の影響もあり、2008年度比42%減少しました。



PRTR法対象物質の排出量・移動量

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	0	0	0	0	0	771
40	エチルベンゼン	828	0	0	0	0	16454
63	キシレン	1689	0	0	0	0	27038
68	クロム及び3価クロム化合物	0	0	0	0	0	12062
100	コパルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	40	0	0	0	0	851
227	トルエン	1791	0	0	0	0	21336
231	ニッケル	0	0	0	0	0	11
304	ほう素及びその化合物	0	0	0	0	0	33
311	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	4005
346	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	0

枚方製造所

8 環境コミュニケーション

① 地域美化活動

2008年 5月24日	ボランティア&ウォーク	299名
2008年10月21日	所外周クリーンアップ作戦	90名
2008年11月 9日	天の川大掃除	30名



ボランティア&ウォーク(落書き消し)



ボランティア&ウォーク(ゴミ拾い)



所外周クリーンアップ作戦



天の川大掃除

② 教育への支援

2008年11月20日	星ヶ丘看護学校成人看護実習受入	41名
2008年12月12日	中国省エネルギー研修受入	40名



中国省エネルギー研修

枚方製造所

9 サイトデータ

▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算GJ	
エネルギー	電気	万kWh	4,870.0	476,919.1
	石炭コークス	t	0	0
	都市ガス	千m ³	4,342.6	195,416.7
	灯油	kℓ	78.2	2,869.9
	軽油	kℓ	379.4	14,493.2
	重油	kℓ	0	0
	LPG	t	0	0
	他			
合計		—	689,698.9	

水使用量	万m ³	21.8
------	-----------------	------

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	23,990
---------------------	-------------------	--------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		No.5焼鈍炉			機械吹付塗装脱臭装置			No.2吸収式冷暖房機		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値
	SO _x	総量規制・K値規制とも にm ³ N/h		※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用	
NO _x	総量規制	m ³ N/h	総量規制	1.31	0.309	総量規制	1.31	0.307	総量規制	0.04	0.019
	濃度規制	ppm	濃度規制	200	32.8	濃度規制	230	87.9	濃度規制	150	41.7
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.1	0.009	濃度規制	0.2	0.009	濃度規制	0.05	0.01

排水	放流先	項目	単位	B排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	—	5.8~8.6	7.3
		BOD	mg/ℓ	25	3.7
		COD	mg/ℓ	25	4.7
		窒素	mg/ℓ	120	5.0
		りん	mg/ℓ	16	0.4
		六価クロム	mg/ℓ	0.05	ND
		鉛	mg/ℓ	0.01	ND
		COD総量規制値	kg/日	38.0	2.0
		窒素総量規制値	kg/日	38.3	2.0
		りん総量規制値	kg/日	4.41	0.16
下水道		pH	—	—	—
		BOD	mg/ℓ	—	—
		COD	mg/ℓ	—	—
		SS	mg/ℓ	—	—

廃棄物排出量	t	4623.5
埋立比率	%	1.45